

第1回鉄鋼工学アドバンスセミナー受講者募集案内

- 会 期 平成5年12月15日(水)～12月17日(金)
 ○申込締切 平成5年10月1日(金)

会員各社からのアンケート回答として寄せられた要望に基づき、鉄鋼工学セミナー（通例蔵王開催）の上級コースとして、このたび鉄鋼工学アドバンスセミナーを開設する運びとなりました。

本セミナーは、鉄鋼工学セミナー修了者または同等以上の能力を有する10～15年の実務経験をもつ中堅技術者を対象とし、各自の技術思想の整理・再構築を図るとともに、すでに習得した知識を存分に活用するための能力を養成することを目的としており、次のような特徴をもつ実践コースです。

- ・ホットなテーマ：鉄鋼工学上、今話題となっているテーマを学習対象に選定する。
- ・実践的な方法：受講人数を絞り、各テーマに対しディスカッションを主体に行う。受講者は予め提示された課題に対するレポートを作成し、本セミナーで相互に発表した後、問題点を抽出し徹底的な討論を行う。
- ・充実した講師陣：選定したテーマに対する最高の専門家2名（大学・企業各1名）を講師として招く。（また、さらにティーチングアシスタント（大学助手クラス）1名をつける場合あり。）

第1回セミナーは、以下のとおり魅力的なテーマと講師陣で構成されておりますので、奮って受講下さるようご案内いたします。

1. 期 日 平成5年12月15日(水)～12月17日(金)
2. 会 場 新日本製鐵(株) 新山谷寮（東京都渋谷区代々木3-59-9 電話03-3370-3141）
3. 内 容 次項目参照
4. 募集定員 製鉄コース 7～8名、製鋼コース 7～8名
材料コース1 7～8名、材料コース2 7～8名
(注) 定員オーバーの場合は、お断りすることがあります。
5. 参加資格 日本鉄鋼協会正会員で、鉄鋼工学セミナー修了者、または同等以上の能力を有する10～15年の実務経験者。
6. 費 用 イ) 金 額 受講料 120,000円、宿泊費 9,000円(2泊、食事別)
ロ) 送金方法 受講者が決定次第専用郵便振替用紙をお送りしますので、10月22日(金)までに郵便振替にてご送金下さい(現金書留可)。10月23日以降に申込みの取消しをされても返金できませんので、ご了承下さい。
7. 申込締切日 平成5年10月1日(金) 期日厳守
8. 申込方法 本募集案内(N598ページ)の申込書をA4判に拡大コピーして、必要事項を記入の上お申込み下さい。
9. 申 込 先 (社)日本鉄鋼協会 編集・業務室 鉄鋼工学アドバンスセミナー係
問 合 せ 先 〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 電話 03-3279-6021、FAX 03-3245-1355

■内 容

1. コース

(1) 製鉄コース

テーマ「炉内解析に基づいたPCI200～250kg/t-p吹込達成のための論理的考察と操作指針」

講師 石井 邦宜(北海道大学工学部金属工学科教授)

清水 正賢(神戸製鉄所鉄鋼技術研究所製鉄研究室主任研究員)

○宿 題 「自社のPC吹込み高炉1本を選び、PC比増大過程の炉内状況変化を論理的に解析し、更にPC比を増大させるための課題と指針を示せ。」

○講義1 PC吹込み時の燃焼と炉内反応(石井講師)

○講義2 高炉内の気・固・液移動現象に及ぼす微粉炭吹込みの影響(清水講師)

(2) 製鋼コース

テーマ「高純度化」

講師 佐野 正道(名古屋大学工学部材料プロセス工学科教授)

藤井 徹也(川崎製鉄(株)鉄鋼研究所製鋼プロセス研究部長)

○宿 題 「高純度鋼溶製技術(2次精錬)に関し、自社の代表的な製鋼工場を例として、操作方法の概要、操作データを示し、操作結果、操作上の問題点を熱力学的、速度論的に考察せよ。あるいは高純度化に関わる溶銑予備処理について、前記と同様な考察をせよ。」

○講義1 高純度鋼製造のプロセス工学(佐野講師)

○講義2 高純度鋼製造のプロセス解析(藤井講師)

(3) 材料コース1

テーマ「表面被覆における高速化並びに被覆層の構造制御」

講師 吉田 豊信(東京大学工学部金属工学科教授)

三吉 康彦(新日本製鐵(株)鉄鋼研究所表面処理研究部主幹研究員)

○宿 題 「鉄鋼業におけるドライコーティングと溶融Znめっき技術を現在技術レベルと比較検討するとともに、両者の共通課題である高速化と被覆層の構造制御(例えば合金化溶融ZnめっきにおけるZn-Fe合金層制御)に関して、より高度な技術レベルを目指すにはいかなる新たな概念の導入が必要かについて述べよ。」

○講義1 ドライプロセスによる大面積・高速コーティングの可能性(吉田講師)

○講義2 合金化溶融ZnめっきにおけるZnとFeとの合金化反応(三吉講師)

(4) 材料コース2

テーマ「材質予測」

講師 友田 陽(茨城大学工学部物質工学科教授)

小松原 望(住友金属工業(株)鉄鋼技術研究所薄板材料研究室主任研究員)

○宿 題 「新鋼種開発のための金属組織定量化と機械的性質予測に関する事例研究と開発指針をまとめよ。」

○講義1 混合則に基礎をおいた材質予測(友田講師)

○講義2 製造現場における一貫材質予測(小松原講師)

第1回鉄鋼工学アドバンスセミナー受講者募集案内

2. 基調講演

テーマ「研究開発の品質管理」

講師 阿部 光延（新日本製鐵㈱技術開発本部フェロー）

概要 研究成果にも質の良否が問われ、いくなれば品質管理が必要となる。最少の投資で最大の成果をあげるのには、Plan-Do-Check-Action のサイクルにおける Plan の質が重要視される。経験や知識を単に蓄積するだけでなく、これらを集約抽象化した技術思想を構築することにより、はじめて良質斬新な Plan が可能となる。鉄鋼工学アドバンスセミナーが、このような技術思想の構築に少しでも役立てば幸いである。

■基本プログラム

時間	第1日 12月15日(水)	第2日 12月16日(木)	第3日 12月17日(金)	
8:30		朝食	朝食	8:30
		講義 1 10:10-10:20	討論 5	
12:00		講義 2 10:20-		12:00
12:30	受付	昼食	昼食	
13:00	コース別オリエンテーション			13:00
13:45	開会式	討論 2	討論まとめ	
14:00	基調講演			
15:00		15:10		15:40
15:10	宿題発表会	15:40	閉会式	16:00
		討論 3		
17:10				
17:30	討論 1	夕食	18:00	
19:00		討論 4	19:00	
19:10	合同懇親会		21:00	
21:10				

●鉄鋼工学アドバンスセミナー小委員会●

小委員長 阿部 光延（新日本製鐵㈱技術開発本部フェロー）

委員 稲葉 晋一（㈱神戸製鋼所鉄鋼技術研究所製鉄研究室長）

岩瀬 正則（京都大学工学部冶金学教室助教授）

梅本 実（豊橋技術科学大学工学部生産システム工学系助教授）

日本鉄鋼協会第1回鉄鋼工学アドバンスセミナー申込書（平成5年）

コース 希望コースを○で 囲んで下さい。	1. 製鉄 2. 製鋼 3. 材料 1 4. 材料 2	生 年 月 日 (年齢)	年
(ふりがな)		西 暦 (1983年12月15日時の年令 才)	鉄鋼工学アドバンス 修了年
受講希望者氏名			
会員番号 (未記入は受付不可)			
現在の所属・役職			
(現在の担当分野)			
勤務先住所・電話	住所 〒 電話		
卒業校・修了課程 (○で囲む)	卒業校名・学科名: 1. 高校 2. 高专 3. 学部 4. 修士 5. 博士課程		
入社年度	年 月 入社		
入社後の職歴			
受講者と連絡先が 異なる場合の連絡 者の氏名・所属・ 住所・電話番号	氏名 所属 住所 〒 電話		

請求書必要の要・不要（○でお囲みください。）

1. 要
2. 不要

請求書
宛 名